

## ヒグマ対策活動の実施状況 (平成 28 年 12 月末現在)

<ヒグマの出没状況（ヒグマ目撃アンケート）>

\*斜里町・羅臼町では3月～翌年2月までをその年の数字として集計した。

### 斜里町

平成 24～28 年の 5 年間のうち、平成 24 年、27 年、28 年の 3 年でそれぞれ目撃件数が 1,000 件を超え、近年の目撃件数は平成 23 年以前より増加傾向にある。特に平成 24 年および平成 27 年は、過去 20 年強の間で突出した目撃件数となり、「大量出没年」であった。目撃件数が最も多かった年は平成 24 年の 1,763 件（国立公園内 1,576 件、国立公園外 187 件）であり、次いで平成 27 年が 1,487 件（国立公園内 1,273 件、国立公園外 214 件）となった。平成 28 年は 1,035 件（国立公園内 906 件、国立公園外 129 件）と過去 3 番目に多かった。

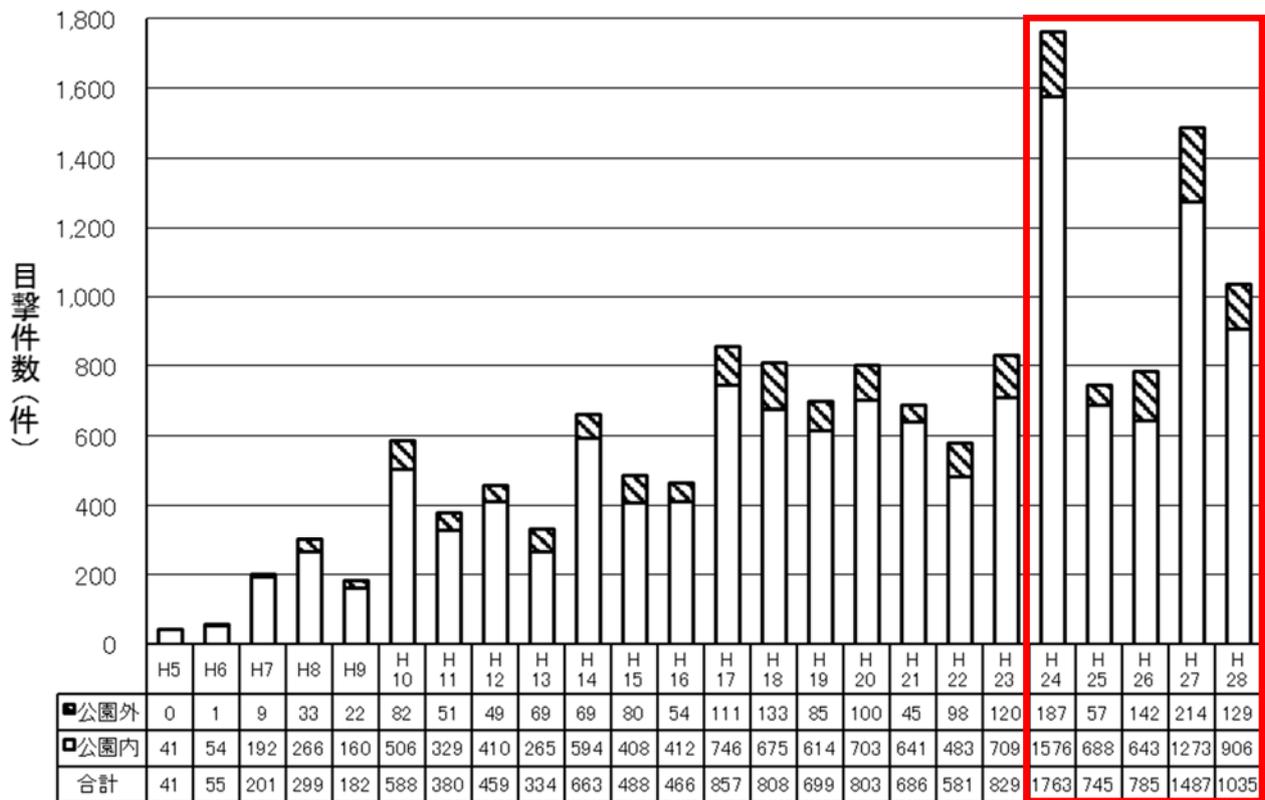


図 1. 斜里町におけるヒグマ目撃件数の推移

ヒグマの目撃情報は、3～4月から始まり、7～8月がピークとなり、1月以降にほとんどなくなるのが例年のパターンとなっている。月別では、大量出沒した平成24・27年のピークは8月、それ以外の平成25・26・28年のピークは7月であった。大量出沒した年は、7～8月の目撃件数が著しく多くなる傾向が認められた。平成24・27年の8月には、国立公園内の道路沿いや遊歩道沿いでアリを採食するヒグマの姿が頻繁に目撃された。道路沿いでのアリ採食が、目撃件数を押し上げた要因のひとつと考えられる。

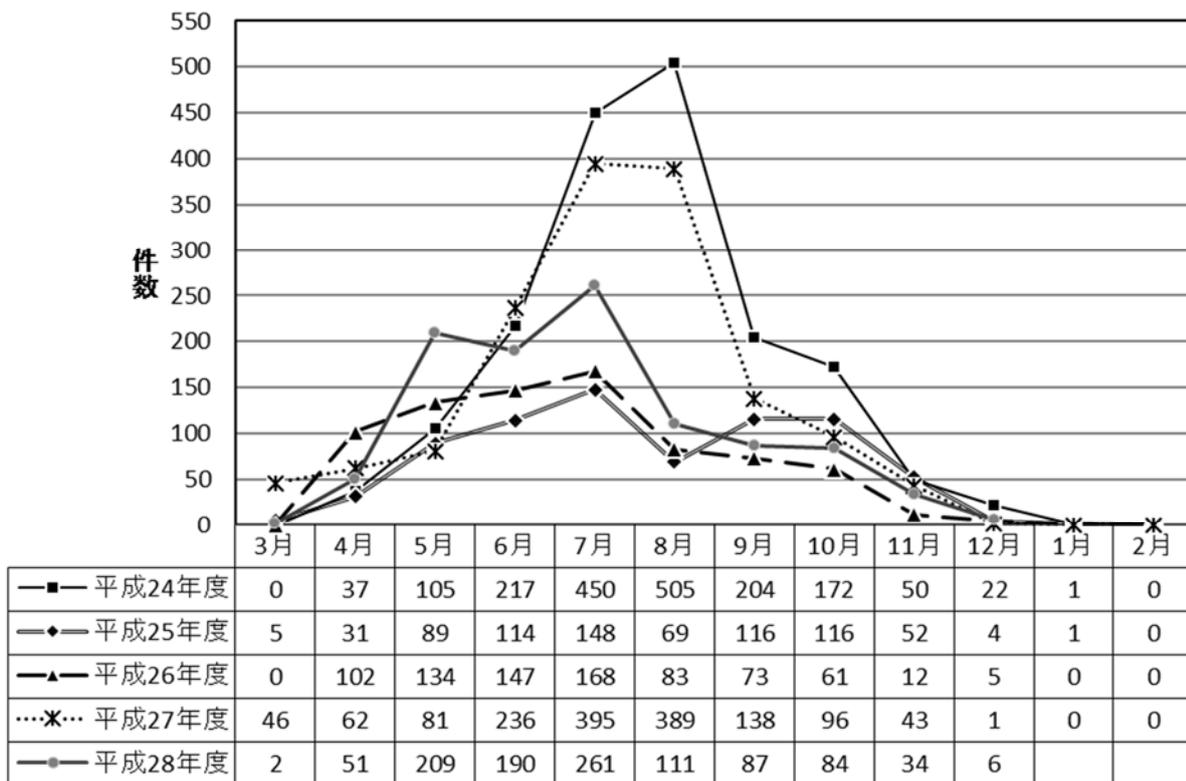


図 2. 斜里町におけるヒグマ目撃件数の月別変化

## 羅臼町

平成 24～28 年の 5 年間で、目撃件数が最も多かった年は平成 24 年であった。平成 24 年は、国立公園外 237 件、国立公園内 150 件の計 387 件であった。次いで平成 27 年が、国立公園外 137 件、国立公園内 172 件の計 309 件となり多かった。平成 24 年、27 年の目撃件数が例年と比較して多かった状況は、斜里町と同様であった。

場所別では、平成 19 年以降、国立公園外では平成 24 年の 237 件が最も多く、国立公園内では平成 28 年の 176 件が最多であった。平成 28 年の国立公園内の目撃が多かった理由の一つとして、平成 27 年以降、ヒグマウォッチングクルーズ等の遊漁船事業者から知床岬地区における目撃情報が多く寄せられるようになったことが挙げられる。

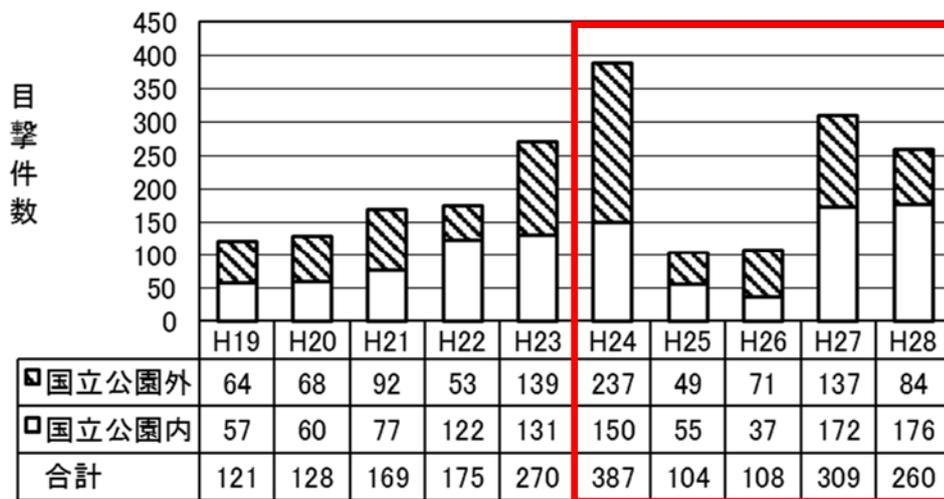


図 3. 羅臼町におけるヒグマ目撃件数の推移

<ヒグマ対策活動件数>

斜里町

\*知床財団による対応のみを集計。猟友会による対応は除く。

平成 24～28 年の 5 年間で、ヒグマ対応件数が最も多かった年は平成 24 年（1,009 件）であった。平成 23 年以前と比較して、対応件数は増加傾向にある。月別に見ると例年 5～10 月に対応件数が集中しているが、年によってヒグマの出没状況が変わるため、対応件数の増減もそれに連動した。大量出没年である平成 24 年と 27 年は 7～8 月に対応件数が特に多くなったが、平成 25 年は 7 月と 10 月、平成 26 年は 5～6 月、平成 28 年は 5 月と 7 月に対応件数が特に多かった。

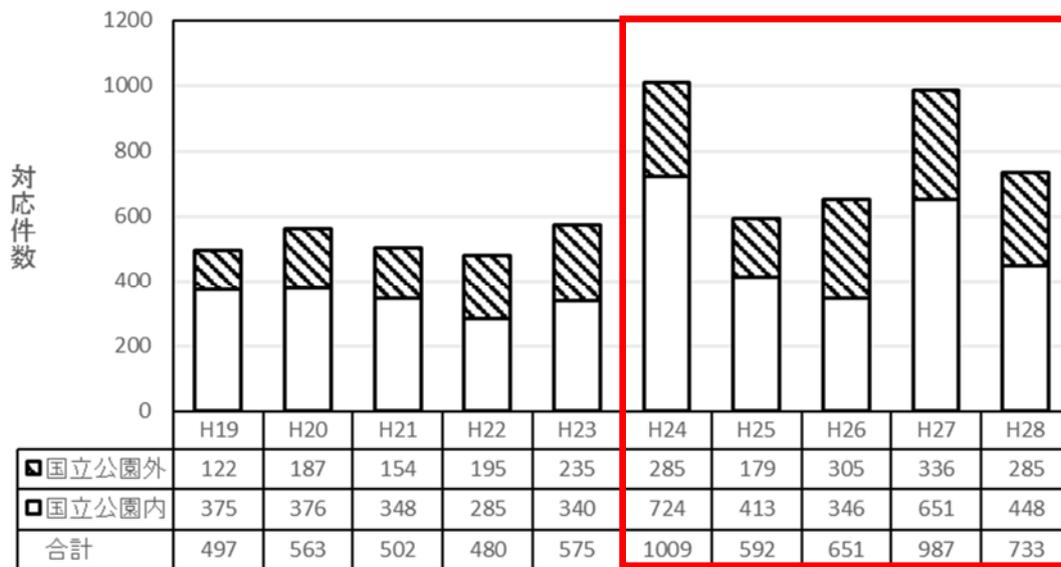


図 4. 斜里町におけるヒグマ対応件数の推移

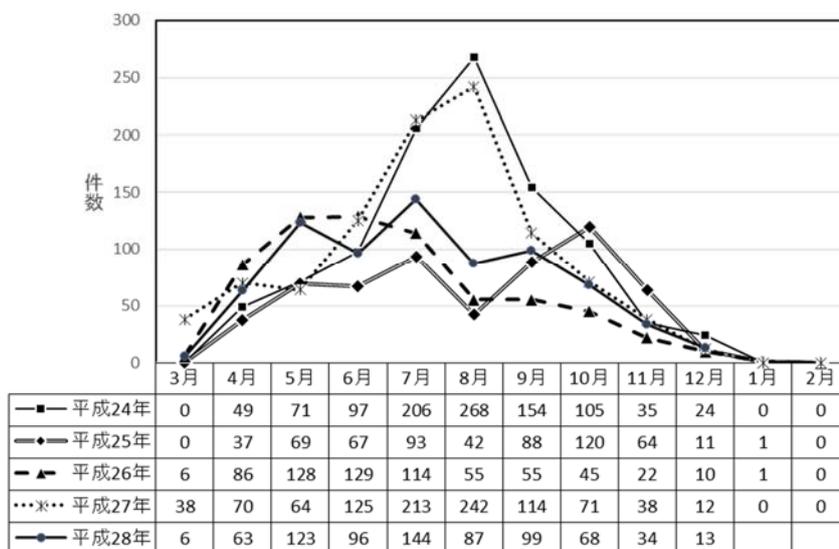


図 5. 斜里町における月別ヒグマ対応件数

羅臼町

平成 24～28 年の 5 年間で、ヒグマ対応件数が最も多かったのは平成 24 年であった。平成 24 年は、国立公園外 266 件、国立公園内 63 件の計 329 件であった。月別では、いずれの年も 7～9 月がピークのほぼ 1 山型の分布となった。

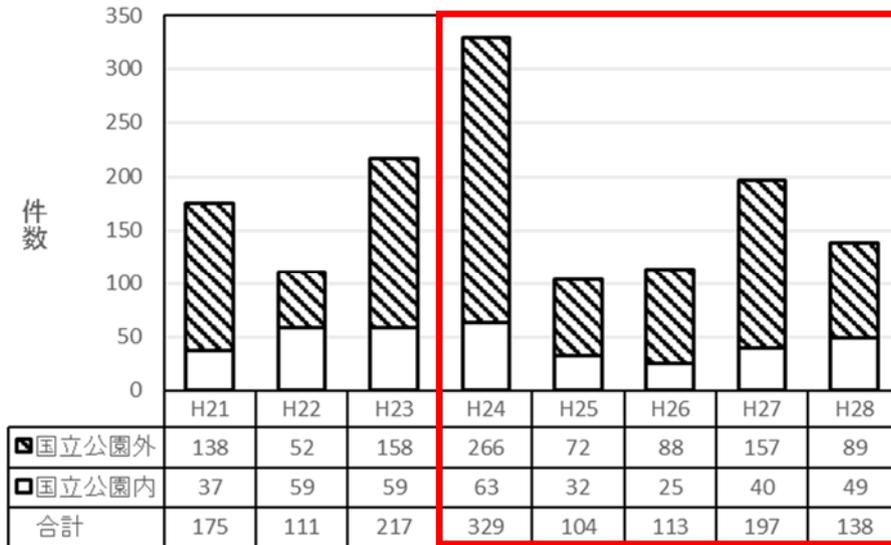


図 6. 羅臼町におけるヒグマ対応件数の推移

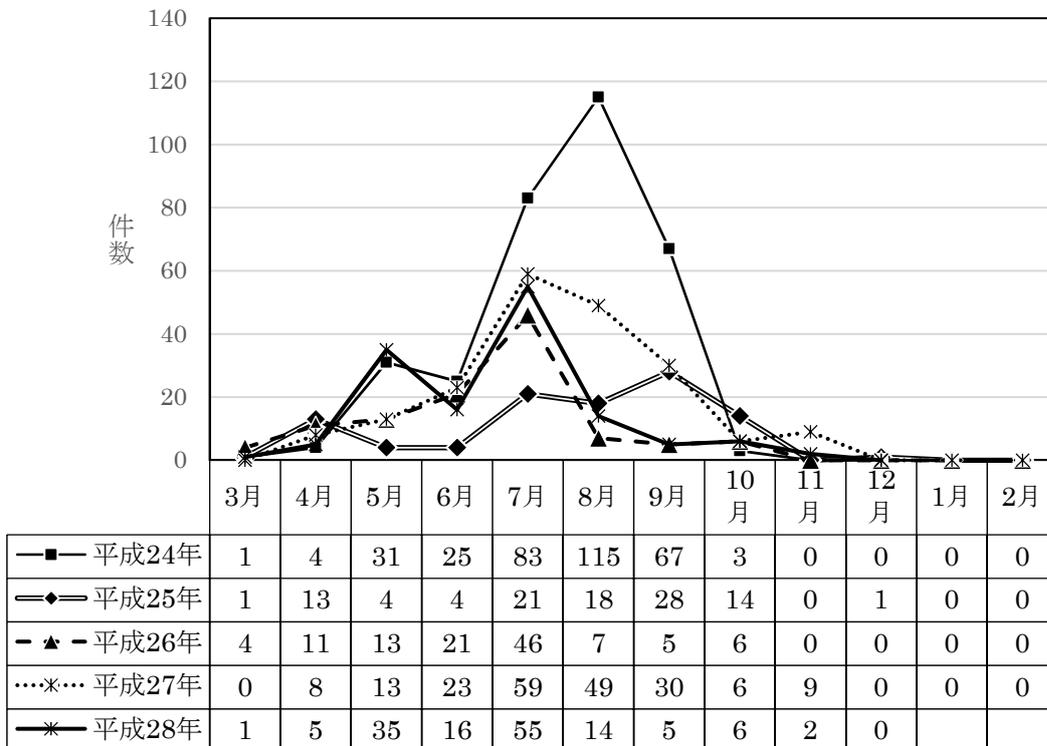


図 7. 羅臼町における月別ヒグマ対応件数

標津町

平成 24～28 年度の 5 年間で、ヒグマ対応件数が最も多かったのは平成 25 年度の 49 件であった。平成 21～25 年度まで年 40 件を超えていたヒグマの対応件数は、平成 26 年度以降は 20～30 件台で推移した。斜里町では平成 27 年に大量出沒が発生したが、標津町は比較的落ち着いた状況で推移した。平成 24～28 年度の 5 年間、ヒグマの狩猟捕獲は毎年 0～2 頭、有害捕獲も毎年 0～3 頭であった。

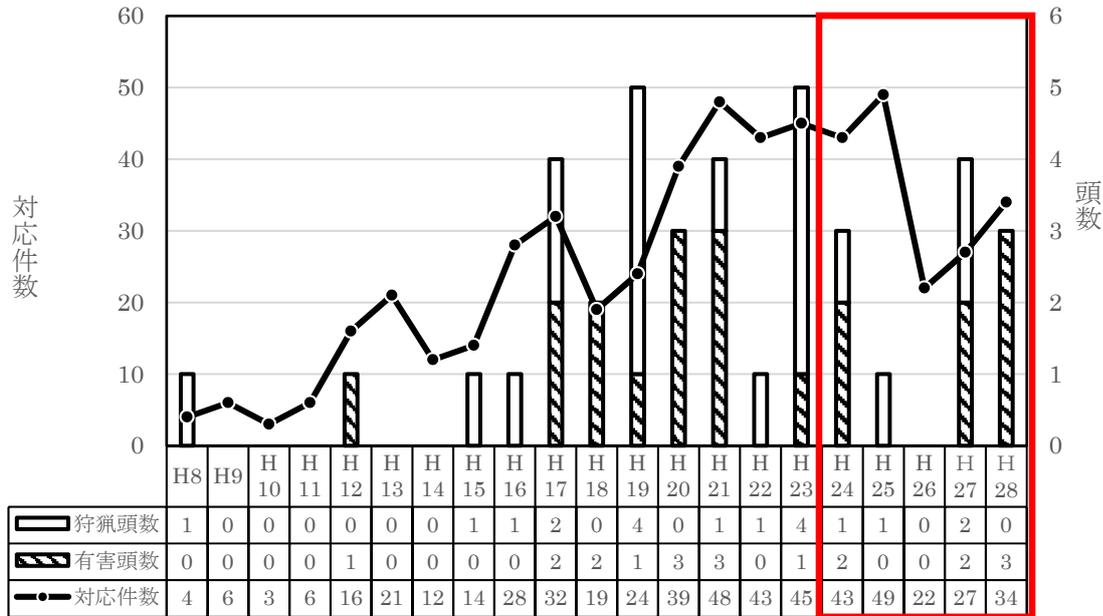


図 8. 標津町におけるヒグマ対応件数の推移

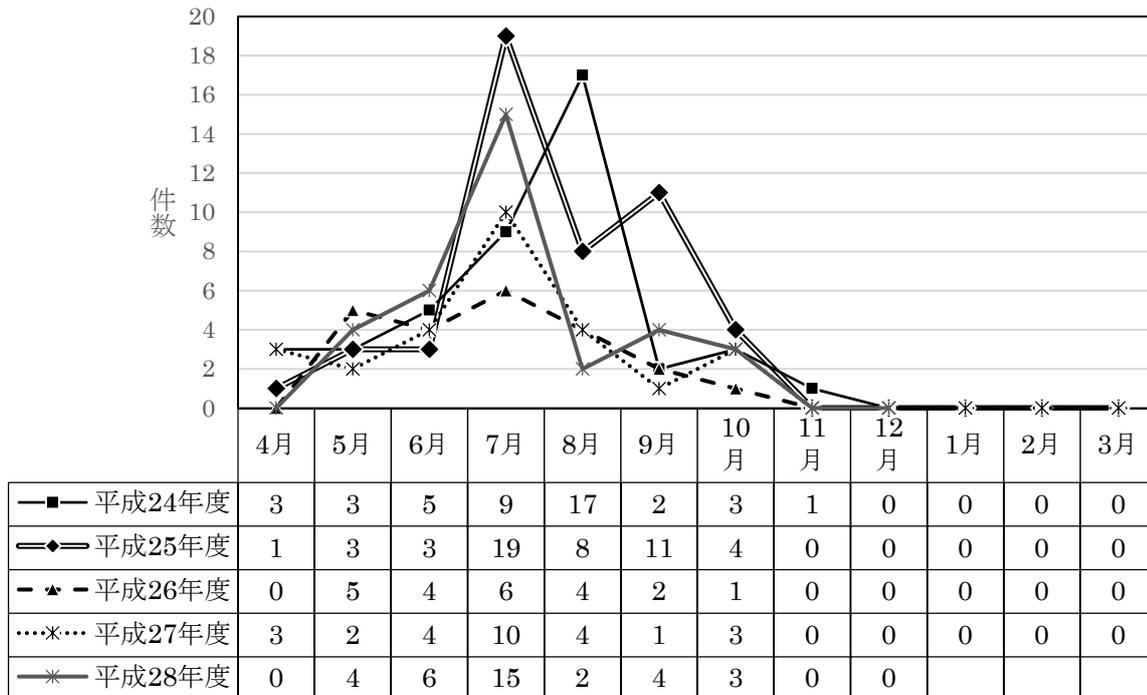


図 9. 標津町における月別対応件数

<ヒグマ対応件数のゾーン別・行動段階別集計>

\*斜里町は知床財団による対応のみを集計。猟友会による対応は除く。

斜里町ではゾーン別ではゾーン 3、行動段階別では行動段階 1 の対応件数が多く、ゾーン 3・行動段階 1 の対応が過半数を占める。近年は全体におけるゾーン 4（ウトロ周辺）の対応が増加傾向にある。羅臼町ではゾーン 5 と 3、行動段階 1 の対応件数が多く、ゾーン 5・行動段階 1 とゾーン 3・行動段階 1 で対応の過半数を占める。

表 1. 斜里町におけるゾーン別、行動段階別のヒグマ対応件数

年度	ゾーン	行動段階				計
		0	1	2	3	
平成24年度	1	0	1	0	0	1
	2	2	21	0	0	23
	3	8	271	4	0	283
	4	1	20	2	0	23
	5	2	4	3	0	9
	計	13	317	9	0	339
平成25年度	1	0	1	0	0	1
	2	0	10	1	0	11
	3	2	163	0	0	165
	4	0	3	0	0	3
	5	0	2	0	0	2
	計	2	179	1	0	182
平成26年度	1	0	0	0	0	0
	2	1	19	0	0	20
	3	1	146	0	0	147
	4	0	39	1	0	40
	5	0	4	0	0	4
	計	2	208	1	0	211
平成27年度	1	0	0	0	0	0
	2	2	19	5	0	26
	3	4	282	1	0	287
	4	2	35	4	0	41
	5	0	2	0	0	2
	計	8	338	10	0	356
平成28年度	1	0	0	0	0	0
	2	0	2	0	0	2
	3	3	189	2	0	194
	4	0	56	17	0	73
	5	0	0	0	0	0
	計	3	247	19	0	269

※行動段階が明確な対応のみを集計。

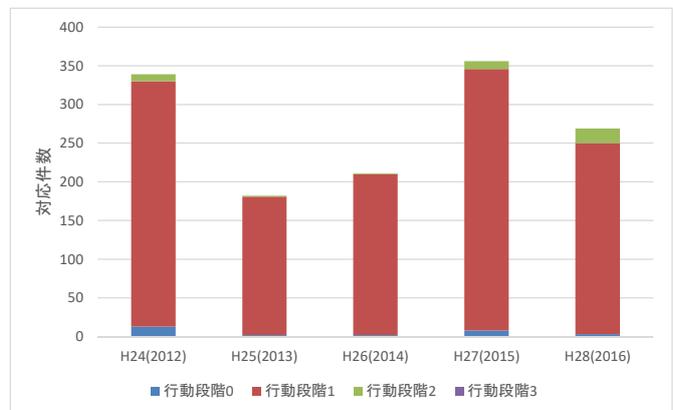
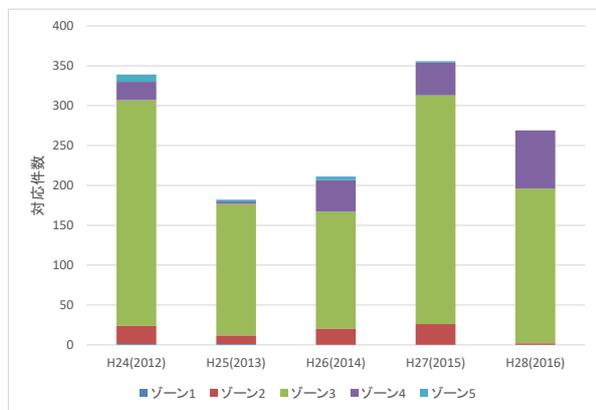


図 10. 斜里町におけるヒグマ対応件数(ゾーン別)

図 11. 斜里町におけるヒグマ対応件数(行動段階別)

表 2. 羅臼町におけるゾーン別、行動段階別のヒグマ対応件数

年度	ゾーン	行動段階				計
		0	1	2	3	
平成24年度	1	1	1	0	0	2
	2	1	1	0	0	2
	3	1	44	2	0	47
	4	1	23	0	0	24
	5	6	157	26	0	189
	計	10	226	28	0	264
平成25年度	1	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0
	3	1	24	0	0	25
	4	1	7	0	0	8
	5	0	31	1	0	32
	計	2	62	1	0	65
平成26年度	1	0	0	0	0	0
	2	0	3	0	0	3
	3	0	15	0	0	15
	4	0	10	0	0	10
	5	0	38	1	0	39
	計	0	66	1	0	67
平成27年度	1	0	0	0	0	0
	2	0	1	1	0	2
	3	0	32	0	0	32
	4	0	13	0	0	13
	5	0	70	13	0	83
	計	0	116	14	0	130
平成28年度	1	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0
	3	0	44	0	0	44
	4	0	9	0	0	9
	5	0	57	3	0	60
	計	0	110	3	0	113

※行動段階が明確な対応のみを集計。

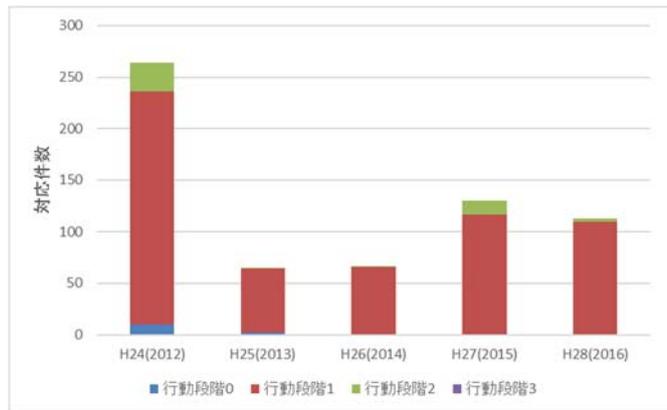
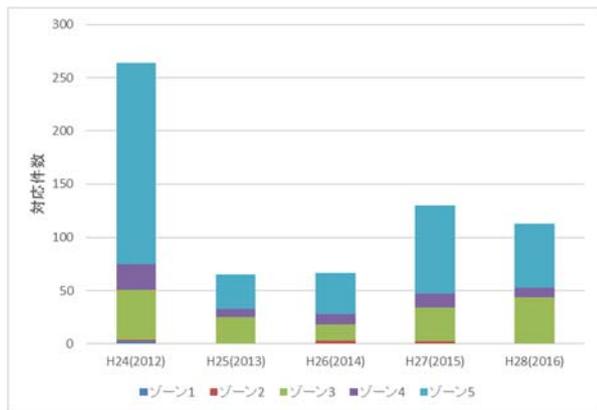


図 10. 羅臼町におけるヒグマ対応件数(ゾーン別)

図 11. 羅臼町におけるヒグマ対応件数(行動段階別)